

Ⅷ. 地方創生関連交付金事業の実施結果

地方創生関連交付金事業の実施結果 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

目標値 ≤ 実績値 ……「達成」
 目標値 > 実績値 ……「未達成」
 ※2020年度末までの累計

○地方創生推進交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成・ 未達成	
1	パラウェーブNAGANO プロジェクト推進事業 (障がい者スポーツの 振興による共生社会 づくり)	17,245,179	県障がい者スポーツ大会、地 域で実施している体験会等の 障がい者の参加者総数	15,742	人/年	2022	49,589	人/年	16,136	8,337	未達成	大会や体験会の参加者数については、新型コロナウイルス感染症の 影響により、当初予定していた事業の多くが中止となったため、未達成 となりました。 みらいアスリートディレクターによる体験会については、年度後半より本 格的に開始し、非常に多くの県内学校等で実施することができ、目標 を達成しました。 総合型地域スポーツクラブでの実施率については、順調に推移し、目 標を達成しました。 一般県民の障がい者スポーツの体験率については、他法人の調査 結果を指標としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、 調査が実施されず、「実績値なし」となりました。 引き続き、感染症の状況を注視しながら、実施可能な事業を着実 に実施し、障がい者スポーツの振興に取り組みます。
			みらいアスリートディレクターが実 施する特別支援学校等での障 がい者スポーツ体験会の参加 者数	0	人/年	2022	1,200	人/年	200	3,117	達成	
			総合型地域スポーツクラブにお いて障がい者に対するプログラ ムを実施している率	3.4	%	2022	34.3	%	5.7	9.4	達成	
			一般県民の障がい者スポーツ の体験率	6.0	%	2022	55.9	%	12.3	調査 未実施	実績値なし	
2	社会人を対象としたUI Jターン促進事業	19,085,715	UIJターン転職説明会参加者 のうち長野県企業へ転職する 割合	0.0	%	2022	10.0	%	3.0	調査 未実施	実績値なし	新型コロナウイルス感染症の影響により、会場での対面による説明 会に代わり、オンライン形式で説明会を実施しましたが、参加者へのア ンケート調査は行うことができませんでした。 社会増減については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い地方 への移住の意識が高まってきたものの、目標達成に至りませんでした。 移住者数については、市町村窓口による捕捉数は増えているもの の、行政サポートによる移住者数が伸び悩み、目標を達成することが できませんでした。 今後は、説明会等イベントの周知を強化し、UIJターン転職検討者 に県内企業の魅力を発信するとともに、県内企業に対しては、副・兼 業人材の活用例等、新たな働き方の裾野を広げるための取組を実施 します。また、市町村窓口における移住者捕捉率向上に向けた取組 を実施します。
			副・兼業人材を活用する県内 企業数	0	社	2022	10	社	1	1	達成	
			社会増減	△ 956	人	2022	956	人	300	△ 1,484	未達成	
			移住者数	2,315	人	2022	585	人	485	111	未達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
3	外国人の就業促進事業	2,326,280	相談窓口における支援により、実際に外国人雇用に結びついた事業所数	0.0	%	2022	80.0	%	70.0	79.0	達成	グローバルキャリアフェアについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場が密にならないよう出展企業数を減らし、また企業からも応募が例年より少なかったため、目標を達成することができませんでした。 相談窓口における支援企業数については、新型コロナの影響による企業の経営悪化や海外への渡航制限等の状況を踏まえ相談窓口の開所日を当初予定の4月から1月まで大幅に遅らせることとなったため、支援企業数は目標を達成することができませんでした。 今後は、外国人材の受入れに関心を持っている企業への支援や外国人留学生の県内就職促進の取組を進め、円滑かつ適正な受入れを推進するとともに、安心・安全に働くことができる就労環境の整備により、外国人材が日本人とともに地域を創るパートナーとして活躍できる社会の実現を目指すため、引き続き外国人の就業促進に向けた支援を実施します。
			グローバルキャリアフェアの開催による外国人留学生の就職・内定者数	0	人	2022	12	人	4	(集計中)	実績値なし	
			グローバルキャリアフェアの出展企業数	0	社	2022	90	社	25	8	未達成	
			相談窓口における支援企業数	0	社	2022	1,080	社	360	34	未達成	
4	Society5.0時代にふさわしいIT人材・IT産業集積を図る信州ITバレー構想推進事業	57,566,131	労働生産性(全産業の実質県内総生産を県内就業者数で除した数値)	7,289	千円/人	2022	447	千円/人	149	220	達成	労働生産性等はKPIを達成したものの、高校卒業から新卒に該当する10代後半～20代前半の転出が依然として多く、社会増がKPIを下回りました。 今後は、各事業間の連携を更に強化するとともに、拡充や一部見直しを適宜行い、信州ITバレー構想の推進に取り組めます。
			社会増(転入者数－転出者数)	△ 956	人	2022	956	人	300	△ 1,484	未達成	
			試行的に県内に移住・移転して事業活動を行うIT事業者数	13	件	2022	36	件	12	12	達成	
5	長野県プロフェッショナル人材戦略拠点 深化・高度化事業	65,057,456	地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング成約件数(累計)	260	件	2022	330	件	100	110	達成	地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング成約件数及び地域企業の経営課題に関する相談件数については順調に推移しており、目標を達成しました。 従来のマッチング活動に加え、体制拡充事業により業務委託型の副業・兼業人材活用への取組を本格化させ、専門人材を配置することが難しい地域中小企業への活用の促進を図っていきます。
			地域企業の経営課題に関する相談件数(累計)	1,051	件	2022	1,700	件	640	675	達成	
			一人当たり労働生産性の増加分	7,289	千円/人	2022	596	千円/人	199	(集計中)	実績値なし	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
6	『信州型ユニバーサル ツーリズム』推進による 稼ぐ観光地域づくり	1,356,489	本事業におけるユニバーサル ツーリズム来訪者数	0	人	2021	350	人	150	116,868	達成	2020年度から信州大学と共同でユニバーサルツーリズム実務人材育成講座を開講したことで、専門的な知識と専門機材を高度な技術で運用する技能をもった専門人材が着実に育成されています。 上記の講座で育成したユニバーサルツーリズムコンシェルジュ(県内の観光事業者)が中心となり、「ユニバーサルフィールド推進協議会」が発足されました。今後は、情報の一元化を図り、県内外へ向けた情報発信を強化をしていきます。 ユニバーサルツーリズムの研修会を実施する自治体やDMOが少しずつ増えており、着実にユニバーサルツーリズムが県内全体に浸透してきています。
			県内のユニバーサルツーリズムに係る専門人材数	150	人	2021	120	人	70	183	達成	
			県内のユニバーサルツーリズムに対応する地域数	1	地域	2021	5	地域	3	5	達成	
7	ICT等の先端技術と SDGsを活用したクリエイティブな産業創造事業	42,461,644	「製造業の従業員」一人当たり付加価値額	1,031	万円/人	2021	229	万円/人	147	166	達成	「製造業の従業員」一人当たり付加価値額については、県内企業のAI・IoT等導入が進み、目標を達成できました。 引き続き先端技術の活用による県内中小企業等の生産性向上を支援していきます。 効率的な水田農業経営を行う経営体への農地集約は進んでいますが、水田農業経営体の全体数減少の影響を受け、目標を達成することができませんでした。JAや市町村等の関係機関と連携し、スマート農業の推進体制を構築することで、省力・軽労・高位安定生産を更に推し進め、効率的な水田農業経営を行う経営体増加につなげます。 SDGs推進企業応援制度への登録企業数については、登録企業・県のPRや官民連携プラットフォーム(内閣府)HP等への掲載によって制度の認知度が向上し、申請者が増加しました。 今後も引き続き、ポータルサイトでのPR等を通じて普及啓発に取り組めます。 ※KPIの2つ目(生産性)と3つ目(経営体数)について、交付申請時に互いの数値を入れ替えて記載していたため、実施計画等を訂正して提出済。
			農業の単位面積当たり生産性(所得)	272	万円/ha	2021	8	万円/ha	5	6	達成	
			効率的な水田農業経営を行う経営体数	683	経営体	2021	94	経営体	63	36	未達成	
			SDGs推進企業応援制度への登録企業数	0	社	2021	310	社	160	653	達成	
8	つながり人口の拡大と「プチ農業」の普及による信州創生人材創出事業	8,541,185	継続的に地域に関わるつながり人口の数	0	人	2021	200	人	100	87	未達成	1年目と同様、プログラムに参加したつながり人口の数は一定数増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域への往来が制限されたこともあり、プログラム参加者をハブとした二次的つながり人口(その周りの人)への波及が弱く、目標は達成できませんでした。 他方、プチ農業実践者は、コロナ禍で研修や体験セミナーの開催が制限されたものの、オンライン対応により、最終年度目標値を上回る達成となりました。 移住者数については、市町村窓口による捕捉数は増えているものの、行政サポートによる移住者数が伸び悩み、統計上目標を達成することができませんでした。 今後は、引き続き地域活性化や農ある暮らしの実践者を増やす取組を進めていくとともに、つながり人口や移住者の捕捉率向上のための取組を実施します。
			プチ農業体験相談センター等の相談・研修により開始した市町村でのプチ農業実践者	0	人	2021	200	人	100	326	達成	
			移住者数	1,908	人	2021	892	人	792	933	未達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
9	学生インターンシップ及び職業体験の強化による人材育成・定着事業	20,521,856	県内大学卒業生の県内就職率(県内大学を卒業し、就職した者のうち、県内就職者が占める割合)	54.5	%	2021	12.1	%	10.5	△ 4.5	未達成	<p>県内就職率について、2020年度卒業生は例年よりも県内出身者が少ない学年であったこと(2017年度入学者の県内割合40.0%(前年比△4.9ポイント))、また、学生の就職意識が大手企業志向であり、県外での就職意欲が高かったことから、県内就職率が減少しました。2021年度は、インターンシップ支援などにより県内就職率の向上を図っていきます。</p> <p>県内大学生のインターンシップ参加率について、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に低下しました。2021年度は、インターンシップの取組が回復傾向にあるため、引き続き、学生と企業のマッチングや学生に対する活動費の補助などの支援を実施していきます。</p> <p>地域の企業や地域産業への理解を深める人材育成を推進するため、2021年度も「はたらキッズ信州」事業を引き続き実施していきます。</p>
			Uターン就職率(県外に進学した長野県内企業に就職した割合)	39.5	%	2021	5.5	%	5.5	(集計中)	実績値なし	
			県内大学生のインターンシップ参加率	27.0	%	2021	14.0	%	13.0	△ 4.3	未達成	
			「はたらキッズ信州」事業への参加者組数(親子で1組単位)	0	件	2021	1,100	件	900	1,838	達成	
10	「働きたい」をかなえる柔軟な働き方普及促進事業	48,537,610	職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業数	112	社	2021	66	社	44	28	未達成	<p>職場いきいきアドバンスカンパニーについては、小規模事業所等、制度の対象社員がないことで認証要件を満たせない企業があり、新規認証企業数が伸び悩んだため、目標を達成することができませんでした。</p> <p>業務受注したテレワーカーの割合については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テレワーカー養成講座をオンライン化したことにより、受講者へのマッチング支援等が行き届かず、目標を達成することができませんでした。</p> <p>今後は、認証制度の認知度が低いこと、多様な働き方制度の必要性が十分に理解されていないケースが多いことから、制度の周知とともに企業の意識啓発を進めていく必要があります。2021年10月に認証制度を改定し、企業規模に関わらず働き方改革や多様な人材の雇用・登用が進んでいる企業を認証する制度にすることで認証企業を増やし、誰もが自らの能力を発揮できる職場環境づくりを促進していきます。</p>
			職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業における多様な働き方制度の利用社員数	1,960	人	2021	1,140	人	760	1,371	達成	
			職場環境改善アドバイザーによる訪問支援企業数	0	社	2021	7,500	社	5,000	5,228	達成	
			テレワーカー養成講座修了者数のうち、実際に企業からの業務受注につながったテレワーカーの割合	0.0	%	2021	90	%	85	47	未達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
11	バンチャー・エコシステムの構築に向けたスタートアップ支援事業	22,749,758	開業率(雇用保険事業年報)	3.71	%	2021	1.71	%	1.14	(集計中)	実績値なし	社会増については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い地方への移住創業の意識が高まってきたものの、目標には到達しませんでした。今後は、オンライン会議ツール等を活用しながら首都圏での移住創業相談イベントを積極的に開催し、目標達成を目指します。 アクセラレーションプログラムについては、創業支援機関同士の連携体制の構築が進んできたことや、県の支援施策が充実してきたことにより目標を達成することができました。引き続き、支援施策の充実等により着実に成果をあげていきます。
			労働生産性	7,659	千円/人	2021	243.6	千円/人	162.4	(集計中)	実績値なし	
			社会増(転入者数-転出者数)	△ 2,733	人	2021	1,039.8	人	693.2	577.0	未達成	
			アクセラレーションプログラム参加企業のうち、新たな資金調達や販路開拓等の実績が生まれた企業	0	社	2021	15	社	9	10	達成	
12	長野県UIJターン就業・創業移住支援事業 長野県地域課題解決型創業支援事業	40,686,232	本移住支援事業に基づく移住就業者数	0	人	2024	480	人	120	7	未達成	移住就業者・起業者数については、マッチングサイト掲載情報が十分でなく、支援対象となる要件範囲も限定的かつ煩雑であるほか、事業の認知度が低かったため、目標を達成することができませんでした。 起業者数については、前年比1.6倍に増加したものの、不採択案件が多く、目標の達成には至りませんでした。 今後は、本移住支援事業に係るマッチングサイトの利便性を向上させるとともに、サイトの活用について、県内企業訪問等により積極的な呼びかけを行っていきます。また、テレワーカーや関係人口(つながり人口)も支給対象とするなど、要件を大幅に緩和し支給対象を拡大します。支援対象の要件については、わかりやすく示した資料を作成し、移住関連部署や市町村等を通じて、事業の周知に努めていきます。さらに、起業支援については、伴走支援員によるサポート体制を強化し、事業計画の策定支援をきめ細やかに実施し、採択率を高めていきます。
			本移住支援事業に基づく移住起業者数	0	人	2024	18	人	6	1	未達成	
			本移住支援事業に基づく起業者数	0	人	2024	180	人	60	29	未達成	
			マッチングサイトに新たに掲載された求人数	90	件	2024	560	件	160	357	達成	
13	女性・シニア就業応援プロジェクト事業	35,674,065	本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)	0	人	2024	3,600	人	1,200	504	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により雇用情勢が悪化し、企業からの求人が減少したため、就職が困難な状況となりました。また、再就職セミナー等のイベントについて定員を制限するなどの感染防止対策を講じたことにより、求職者と企業との出会いの場が減少したことも影響し、新規就業者数は目標を達成することができませんでした。 女性の短期インターンシップ参加者は、感染症の影響等により受入企業数が伸び悩んだため、目標を達成することができませんでした。 今後は、感染症により深刻な影響を受けている女性に対して、関連事業等との連携を強化して、新規就業に結び付けていきます。
			女性の短期インターンシップ参加者	0	人	2024	280	人	80	34	未達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
14	「発酵・長寿」食品製 造業創生事業	22,817,238	新食品商品化	0	品目	2020	60	品目	60	61	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 2020年度で交付金事業としては終了しますが、長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を目指すため、消費者のニーズに合った新食品商品化への一貫支援や「発酵・長寿」のブランド化等を図ります。
			食品製造業の製造品出荷額等	7,040	億円	2020	360	億円	360	(集計中)	実績値なし	
			観光消費額	7,319.5	億円	2020	387.5	億円	387.5	△ 6.0	未達成	
			加工食品・農産物の輸出額	40.6	億円	2020	17.5	億円	17.5	23.6	達成	
15	地方創生に向けた産 業・地域を支える人づ くり ～「学びの県」をめざし て～	16,919,300	観光インターンシップ受入人数	0	人	2020	190	人	190	102	未達成	観光インターンシップ受入人数については、新型コロナウイルス感染症の拡大による人流の抑制の影響を大きく受けたため未達成となりました。引き続き、新型コロナウイルスの感染や海外からの人流の状況を踏まえつつ、インターンシップや外国人材の就労促進について、地域や関係機関と取組を検討していきます。 信州ものづくりマイスター等による講座受講者数についても、新型コロナウイルス感染症の拡大により、講座の中止や延期があったため目標を達成することができませんでした。 2020年度で交付金事業としては終了しますが、引き続き、地域課題の解決を導く中間支援人材の育成と活動の促進に取り組むとともに、コミュニティの学び合いを支援し、地域を支える人材育成を今後も推進していきます。
			信州ものづくりマイスター等による講座受講者数	1,530	人	2020	270	人	270	49	未達成	
			利用者コミュニティ主催のイベント開催回数	0	回	2020	12	回	12	51	達成	
			宿泊業、飲食サービス業における外国人労働者数	872	人	2020	200	人	200	587	達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
16	信州医療機器事業 化促進・グローバル展 開事業	65,748,000	県内における医療機器(部材 含む)生産金額	180	億円	2020	5	億円	5	(集計中)	実績値なし	「医療機器製造販売業・製造業の許可件数」の目標を達成できな かった理由としては、医療機器産業参入に向けた新たな取組の展開 など、事業活動は活性化されているものの、実際の商品化(事業化) までに至る案件は限定的で、事業所新設やベンチャー創業までには 至っていないためと考えられます。 今後は、これまで整備した支援基盤のもと、組成したプロジェクトの事 業拡大に向けた戦略的なプロデュース・集中支援と、創業にあたって必 要なビジネス全般や開発手法等を学べるプログラムの構築・実施を通 じたベンチャー創業の環境の整備を行うことで、上記の件数等の増加 を図っていきます。
			医療機器産業への展開を図る 県内企業等の数	70	社	2020	55	社	55	(集計中)	実績値なし	
			医療機器製造販売業及び医 療機器製造業の県内における 許可件数	165	件	2020	15	件	15	8	未達成	
			交付対象事業を通じて支援し た県内企業等の数	0	件	2020	40	件	40	97	達成	
17	信州ナビによる周遊・ 滞在の促進プロジェク ト ～信州の魅力を最大 限活かした賑わい創出 ～	9,199,220	県内の延宿泊者数	1,780	万人	2020	335	万人	335	△ 675	未達成	県内の延宿泊者数及び県内の観光消費額について、冬期の雪不 足等の影響、2020年の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、目標 に達しませんでした。 県内の公共交通機関の利用者数は、沿線人口の減少による利用 者の減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標 に達しませんでした。 一方で、「信州ナビ」の累計ダウンロード数は目標を達成することがで きました。 2020年度で交付金事業としては終了しますが、引き続き、信州の魅 力を最大限活かした賑わい創出に取り組んでいきます。
			県内の観光消費額	7,320	億円	2020	639	億円	639	△ 6	未達成	
			県内の公共交通機関(路線バ ス等を広域運行する交通事業 者)利用者数	2,815	千人	2020	21.1	千人	21.1	△ 981.2	未達成	
			県観光・交通案内アプリ「信州 ナビ」の累計ダウンロード回数	2.5	万回	2020	4.0	万回	4.0	4.9	達成	
18	信州ワーケーション推 進事業～商店街の賑 わい創出に向けて～	17,162,377	社会増(転入者数－転出者 数)	△ 2,733	人	2020	1,733	人	1,733	577	未達成	ワーケーションの実施者数は目標を上回ったものの、新型コロナウイル ス感染症による往来制限等の影響から、その他の指標は目標を達成 することができませんでした。 2020年度で交付金事業としては終了しますが、これまでの取組で受 入環境は一定程度充実したとの認識の下、2021年度に立ち上げた 「信州リゾートテレワーク推進チーム」での情報交換会の開催などを通 じて地域のネットワーク形成や優良事例の横展開につなげ、引き続き 県内のワーケーション推進の取組を支援します。
			移住者数	2,084	人	2020	816	人	816	342	未達成	
			外国人延べ宿泊者数	113.5	万人	2020	186.5	万人	186.5	△ 82.0	未達成	
			ワーケーション実施者数	0	人	2020	400	人	400	474	達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度 (年)	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
19	神秘の山「御嶽」再生 プロジェクト ～いにし えの旅人が行き交う Kodoが今 蘇る～	35,427,056	本事業に関連して新規雇用さ れる者の数	9	人	2021	17	人	14	11	未達成	新型コロナウイルス感染拡大の影響等により観光客数が落ち込み、 観光消費額の目標を達成できませんでした。また、観光客数の減を受 けて新規雇用を見合わせたため、新規雇用者数の目標を達成できま せんでした。 外国人を主なターゲットとして事業を進めてきましたが、国内へも目を 向け、コロナ禍でも人気が高いアウトドアやアドベンチャー等のコンテンツ 開発へ力を入れます。また、本事業で設計を行い、2021年度に拠点 整備交付金を活用して整備を進めている「御嶽山ビジターセンター」の オープンを見据え、御嶽古道を歩いて楽しむための道標整備等、拠点 の誘客力を地域に広げる取組を進めます。 さらに、2021年度に外国人ファムツアーを積極的に行うことにより、コ ロナ後に海外からの来訪者数をV字回復させるための下地づくりを行いま す。
			観光消費額	6,250	百万円	2021	2,097	百万円	1,339	217	未達成	
			外国人宿泊者数	2,221	人	2021	9,579	人	6,179	11,852	達成	
20	航空機産業集積化に よる地域イノベーション の創出	45,509,000	航空機産業に取り組む県内企 業	40	社	2020	60	社	60	46	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響による航空機需要の急減などによ り、目標値の達成ができませんでした。 今後は、需要低迷期を乗り越えるための取組と需要回復期に向け て新技術分野へ挑戦する取組の2つの取組を実施します。
			大学・企業等誘致	0	件	2020	5	件	5	9	達成	
			航空機産業分野の売り上げ 高	0	%	2020	4.0	%	4.0	1.1	未達成	

161,280,761

区分	件数	構成比
達成	29	46.8
未達成	33	53.2
実績値なし	10	—
合計	72	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です

地方創生関連交付金事業の実施結果 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

目標値 ≤ 実績値 ……「達成」
 目標値 > 実績値 ……「未達成」
 ※2020年度末までの累計

○地方創生拠点整備交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成・ 未達成	
1	信州未来志向型3Dデジタル生産技術実装化研究拠点整備計画	972,519,900	医療機器の完成品・部材等の新規開発企業数	0	企業	2024	30	企業	0	0	実績値なし	県内製造業の3Dデジタル生産技術導入の推進のため、2021年4月に稼働を開始しました。今後は、医療機器を始めとした成長期待分野の製品開発・事業化等に対する設計、試作、試験までの一貫支援に取り組めます。
			ワンストップ総合支援による新規事業化等件数	0	件	2024	14	件	0	0	実績値なし	
			3Dデジタル生産技術に関する試験手数料・機器使用料収入額	1,430	千円	2024	16,500	千円	0	0	実績値なし	
2	畜産試験場 養豚研究基盤強化事業	563,503,500	新たなオリジナル豚1銘柄(2023年度)	0	銘柄	2024	1	銘柄	0	0	実績値なし	収益性の高い先駆的な飼養管理技術による県内養豚業の振興を図るため、バイオセキュリティレベルが高く省力的な設備を備えた畜産試験場養豚研究施設を整備し、2021年4月に稼働を開始しました。今後は、信州プレミアムポーク地域密着ブランド事業(地方創生推進交付金)により、ブランド豚の創出、農家への優良種豚の精液年間出荷数の向上、観光協会と通じた認知度及び利用率の向上等に取り組む、地域と観光を巻き込んだ養豚振興を推進していきます。
			種苗供給量(ブランド豚用液体精液)	0	本/年	2024	1,200	本/年	0	0	実績値なし	
			農家の母豚一頭当たり年間出荷数	20	頭/年	2024	5	頭/年	0	0	実績値なし	
3	環境・情報技術部門 生産性革命支援事業	350,015,364	生産現場のAI-IoT化による生産性向上に関する研究数	0	件	2022	40	件	20	21	達成	AI及びIoTをメインとした企業のDX化を支援する共同研究、製造現場におけるムダの見える化と改善策としての省エネ推進、3Dプリンタにより作製した試作品や治具を活用した加工工程の改善などに取り組めます。 2019年4月に稼働を開始したAI活用/IoTデバイス事業化・開発センターを活用し、引き続き、生産現場において生産性を向上させるDX化を推進していきます。
			IoT機器等を活用した生産現場のエネルギー使用や工程改善件数	0	件	2022	80	件	40	51	達成	
			3Dプリンタを活用した加工工程の改善件数	0	件	2022	600	件	300	532	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成・ 未達成	
4	食品技術部門生産性革命支援事業	271,532,520	サプリメント等、新しい機能性食品の開発品目	0	品目	2022	100	品目	50	53	達成	2019年4月に稼働を開始したしあわせ信州食品開発センター機能性食品等開発拠点棟を活用し、イノベーションルーム利用による機能性表示食品等の新製品開発支援、試作加工室利用による製造販売支援、評価装置を活用した品質向上支援などに取り組みます。これらの支援業務を通じて、新たな市場ニーズにマッチした商品開発等を引き続き推進していきます。
			食品製造業の製造品出荷額等	7,040	億円	2022	660	億円	310	(集計中)	実績値なし	
			食品の試験・分析・研究に係る機器利用及び依頼試験件数	3,500	件	2022	300	件	150	1,745	達成	
5	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (農業試験場、果樹試験場)	369,226,000	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 長野県のオリジナル品種の開発を推進するため、ブドウでは環境制御施設を駆使し、皮ごと食べられる等消費者ニーズに対応した品種育成に向けた選抜を進めるとともに、温暖化に起因する各種果実・樹体障害への対応技術を開発してきました。そのうち、R2に有望1系統を開発しました。 今後も長野県農業の技術向上を図るため引き続き試験研究に取り組みます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			新たに開発するぶどう・りんごのオリジナル品種の数	0	品種・系統	2020	2	品種・系統	2	2	達成	
6	100年カラマツの利用技術開発事業	307,980,700	開発した、梁・桁製品利用の売上金額	6,000	千円	2020	84,000	千円	84,000	86,371	達成	2018年度、2019年度に当該試験研究施設を利用し、6種類の新製品開発を実施し、新製品化数の目標を達成しました。売上金額についても、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、一時的に減少傾向にあるものの、目標額を達成しています。一方、素材生産量については、県内の木質バイオマス発電所の稼働が当初予定より5年遅れた(2015→2020年稼働)事もあり、目標値を達成することができませんでした。引き続き製品の販売促進に取り組む予定です。
			大径カラマツ材等の梁・桁6タイプの製品化数	30	種類	2020	6	種類	6	6	達成	
			施設整備を契機とした、大径材を含む素材生産量	501	千m ³	2020	249	千m ³	249	69	未達成	
7	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (農業試験場八重森ほ場)	18,324,000	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 当初の予定よりも高温登熟性などの栽培適性の評価に時間を要したため、水稻の品種としての開発には到達していないものの気象・水利自動制御水田試験施設施設を利用して、「あきたこまち」級の良食味で気象変動に対応した2系統、また、高温登熟性に優れる「風さやか」の後継1系統まで絞り込みました。今後、生産性などを確認し近年中に新品种として提案する予定です。 長野県のオリジナル品種の水稻の開発を推進するため、同施設等を活用し、高温登熟性に優れた良食味品種の開発を引き続き進めます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			新しく開発する水稻の新品種(2020年に1品種、2系統)	0	品種	2020	1	品種	1	0	未達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
8	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (野菜花き試験場)	51,795,000	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 レタスの新システムとして、高温でも茎が伸びにくく商品性が確保され、また高温で症状が助長される根腐病に抵抗性を有する3系統を開発しました。 今後も、長野県農業の技術向上を図るため、以下の3点に引き続き取組みます。 ・環境制御技術を駆使し、気象変動の影響を受けにくいトルコギキョウ等の生育・品質制御技術を開発します。 ・盛夏期に収穫・出荷する作型に適したレタス系統を選抜します。 ・施設園芸における捕食性天敵による微小害虫の防除技術を開発します。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			レタスのオリジナル新品種・系統の開発 (2020年に2系統)	0	系統	2020	2	系統	2	3	達成	
9	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (畜産試験場)	190,812,000	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 従来より増体に優れ、出荷日齢を短縮できるジューシーで弾力性・うま味の強いオリジナル地鶏「長交鶏3号」を開発しました。 今後も長野県農業の技術向上を図るため引き続き試験研究に取り組みます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			新たな地鶏品種 (2020年に1品種、1系統)	0	品種	2020	1	品種	1	1	達成	
10	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (南信農業試験場)	14,795,000	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 果実貯蔵性検定施設等を活用し、耐病性・貯蔵性に優れ、本県に適する優良日本なし「南農ナシ6号」を開発しました。 今後も長野県農業の技術向上を図るため引き続き試験研究に取り組みます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			新たに開発する日本なしのオリジナル品種 (2020年に1品種)	0	品種	2020	1	品種	1	1	達成	
11	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場本場)	45,388,785	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 県内水産業の生産性向上を図るため、今回整備した飼育施設を活用し、信州サーモンの親魚であるニジマスとブラウントラウトの成長の良い上位10%を選抜し掛け合わせることで、従来の信州サーモンよりも成長の良い高成長系信州サーモンを作出しました。 引き続き、生産性向上を目的に優良系統などの開発研究を実施していきます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			耐病性や高成長性を備えたマス類の開発 (2020年に1系統)	0	系統	2020	1	系統	1	1	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始時		最終年度(年)の目標			2020(R2)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				基準値	単位	年度	目標値 (増加)	単位	目標値 (2020累計)	実績値	達成・ 未達成	
12	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場押野試験池)	30,485,560	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 2020年度は、生産目標値である40万尾を超える稚魚を生産しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減のため、養殖魚の出荷が滞り稚魚を導入するための池の確保の難しさや先行きの不安から、稚魚供給量が目標値よりも9万尾下回りました。 引き続き、需要に見合った生産ができるよう、計画的な種苗供給を進めます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			信州サーモン種苗供給量の増加	36	万尾	2020	4	万尾	4	0	未達成	
13	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場木曽試験地)	10,805,591	農業の単位面積当たり生産性	256	万円/ha	2020	6	万円/ha	6	22	達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 2020年度は、生産目標値である7万尾を超える稚魚を生産しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減のため、養殖魚の出荷が滞り稚魚を導入するための池の確保の難しさや先行きの不安から、稚魚供給量は目標値よりもやや下回りました。 引き続き、需要に見合った生産ができるよう、計画的な種苗供給を進めます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			信州大王イワナ種苗供給量の増加	4	万尾	2020	3	万尾	3	7	達成	
14	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (林業総合センター)	9,665,200	松くい虫抵抗性マツタケ菌発生苗木の販売	0	千円	2020	3,600	千円	3,600	52	未達成	観光消費額について、雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に達しませんでした。 当初開発していた苗木を現地に試験植栽したところ、通常の大サイズの苗木では現地でのマツタケ菌の生育状況が不良であり、大型の苗木を用いることでこの課題を改善できるという結果が得られたため、新たに大型苗木の規格に合わせた栽培方法を検討する必要が生じました。このため、マツタケ菌発生苗木の販売については、目標の達成に遅れが生じています。 また、マツタケ生産量は天候不順のため目標に達しませんでした。しかし、今回整備した施設を活用し、現地植栽に適したマツタケ菌発生苗木の生産に成功し、2020年度には規模を拡大して試験的に苗木植栽を行いました。 今後は当該増設施設を活用し、苗木の増産技術開発を推進し、マツタケ菌発生苗木の販売量を拡大するとともに、マツタケ生育適地への植林を進めることで、安定的なマツタケ生産に取り組めます。
			観光消費額	6,571	億円	2020	1,276	億円	1,276	476	未達成	
			マツタケ生産量	30.2	トン	2020	19.8	トン	19.8	△ 21.6	未達成	

KPIの達成状況

区分	件数	構成比
達成	21	60.0
未達成	14	40.0
実績値なし	7	—
合計	42	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です